



佐賀地区津波避難タワーにて

ミクロネシア連邦大統領が町を視察

7月21日(日)、ミクロネシア連邦のウェズリー・W・シミナ大統領と関係者ら計9名が来町しました。

今回の訪問では、平成28年に開催され、ミクロネシア連邦の生徒も参加した「世界津波の日高校生サミットin黒潮」の記念植樹や記念碑がある大方あかつき館および佐賀地区津波避難タワーを視察しました。

シミナ大統領らは、震災時に津波避難タワーには最大何名の住民が避難できるのか、そのほかの住民はどこに避難するのかなど、質問を重ねながら意見を交わしていました。



宝流しの様子

浮津海水浴場海びらき

浮津海水浴場で、7月14日(日)に海びらきのイベントが行われました。

同海水浴場では、はじめに安全を祈願する神事が行われ、その後は「宝うばい・宝さがし」イベントが行われました。また、約20年振りに「宝流し」が行われ、船からスイカやグリーンレモン、キュウリなどが投げられました。

来場した武政優花さんは、「毎年来ていて、海びらきが始めると夏だなと思う。今年は小学校最後の夏休みだから、6年生みんなで遊びに行きたい」と話しました。

町長メッセージ

敬老の日 に 際 して



敬老の日にあたり、皆さまのご長寿を心よりお祝い申し上げます。あわせまして、皆さまには長年にわたり黒潮町の発展にご尽力を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。

今年度、100歳以上となられる方は8月1日現在で19名おり、そのうち、今年度100歳を迎えられた方は10名でした。

時代は大正、昭和、平成と変遷し、令和を迎えました。これらの時代を生きてこられた皆さま方には、その人生で得られた知識や経験、あるいは多くの人との絆という、何物にも代えがたい宝物をお持ちです。皆さまにはこれからも、地域を支えていただき、健康で安心して生きがいを持った生活を送っていただきたいと思います。

結びになりますが、皆さま方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。私のお祝いの言葉とさせていただきます。

黒潮町長 松本 敏郎